

燕市情報システム最適化計画書

【公開用概要版】

平成22年3月



【本件お問い合わせ先】

燕市役所 企画調整部 企画政策課 情報政策チーム
〒959-0295 燕市吉田日之出町1番1号
TEL : 0256-92-2111 <http://www.city.tsubame.niigata.jp/index.html>

1. 最適化の背景と必要性

- ・本市では合併を機に情報システムを統合し、「燕市行政改革集中プラン」に基づく101項目に及ぶシステムの見直しを実施する等、市民サービスの向上と業務効率化に取り組んできました。
- ・情報システムを取り巻く環境は日々変化し、新たな問題点や課題が生じています。適時に効果的に対応するためには抜本的な見直しが必要であり、本市では「情報システム最適化計画」を策定することとしました。

■ 背景となる問題点や課題

- ✓ 主流でなくなった技術を継続して利用することにより情報関連コスト増大のおそれがある
- ✓ 現行システムでは新しい市民ニーズ・国の施策への対応が困難になっている
- ✓ 今後、多くの法制度改正が想定され、現行システムでは改修対応が困難になっている
- ✓ 現行システムでは多くの経費・マンパワーが費やされ、新たな市民サービス創出に注力できない
- ✓ 個人情報保護、事業継続(BCP)の重要性が増大している
- ✓ より有利な調達のための国のガイドライン、先進事例等が出てきている

■ 「情報システム最適化計画」の必要性

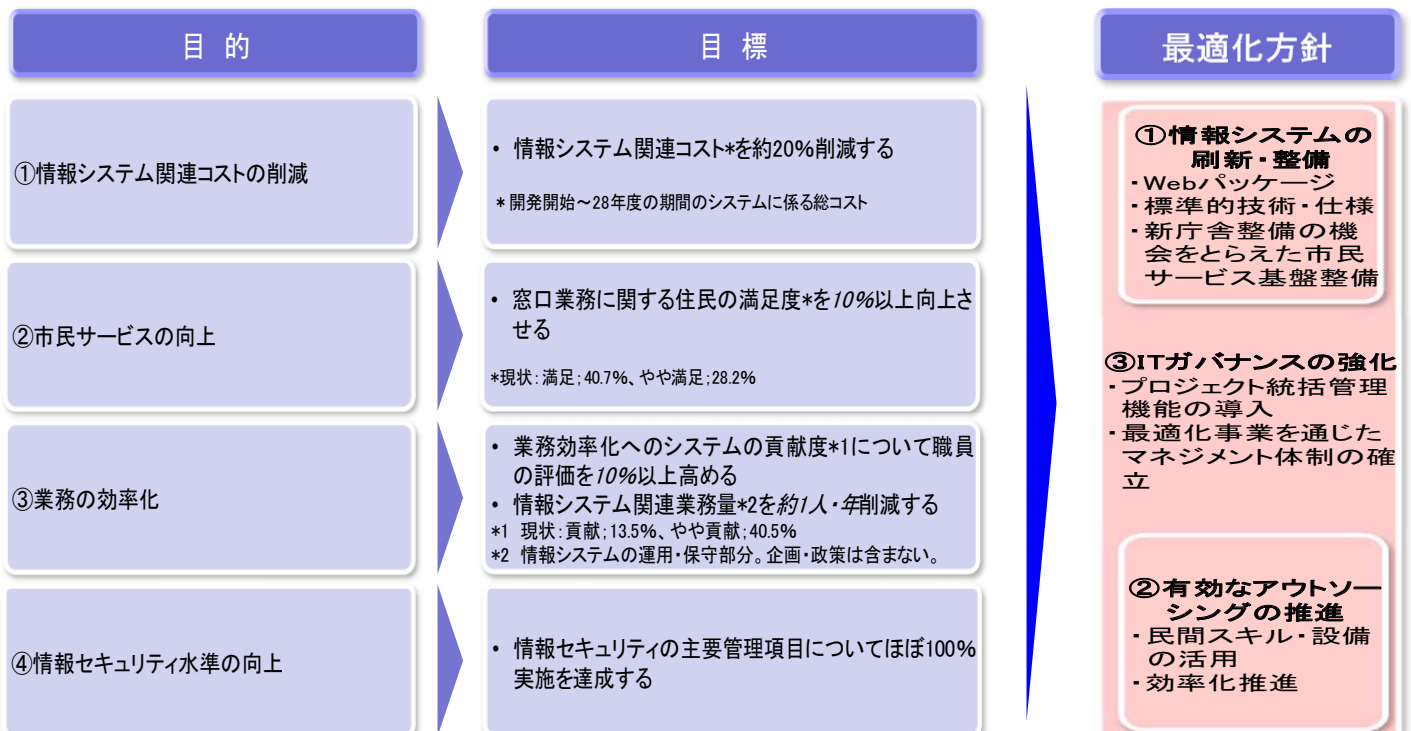
問題点や課題に対して、個別に対応することでは有効な改善は困難であり、情報システムに加え、関連する情報基盤や情報システムのマネジメントを行う仕組みを含めて、トータルな視点から抜本的に見直ししていくことが必要です。

■ 「情報システム最適化」の定義

「情報システム最適化」とは、「最少の資源で最大の効果をもたらすよう、情報システムとその管理の一元化や共通化を進め、情報システムを最適な状態にすること」と定義され、その実現には組織的・計画的にその取り組みを進める必要があります。

2. 最適化の目的と目標

- ・本計画では4つの目的と目標の実現に向けて3つの最適化方針を掲げ取り組みを推進します。
- ・市民サービス向上の財源を確保するために、情報システム関連コストの削減を最優先とします。

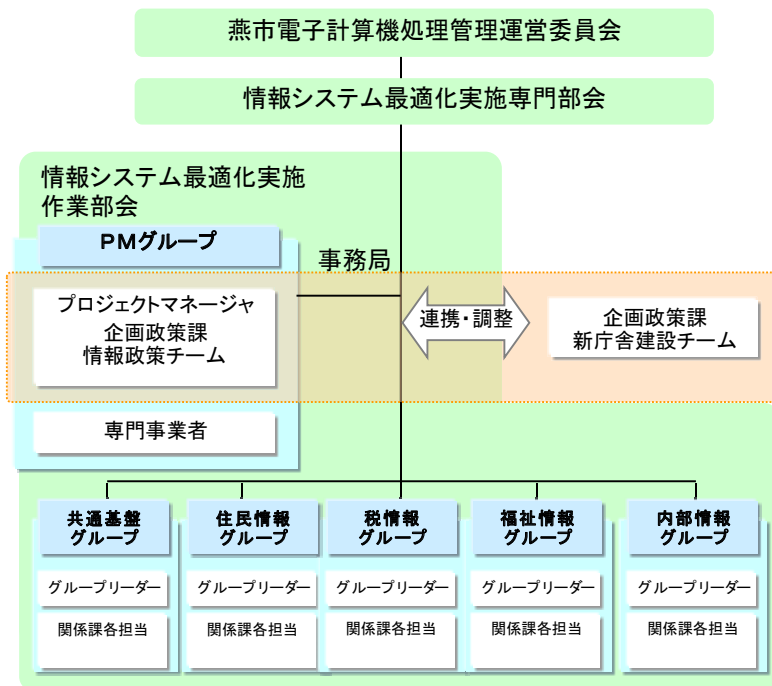


* ITガバナンスとは、ITを導入・活用するにあたり、目的と戦略を適切に設定し、その効果やリスクを継続的に最適化するための組織的な取り組みのこと。

* アウトソーシングとは、企業や行政の業務のうち、専門的なものについて、それを得意とする外部の企業に委託すること。

5. 推進体制

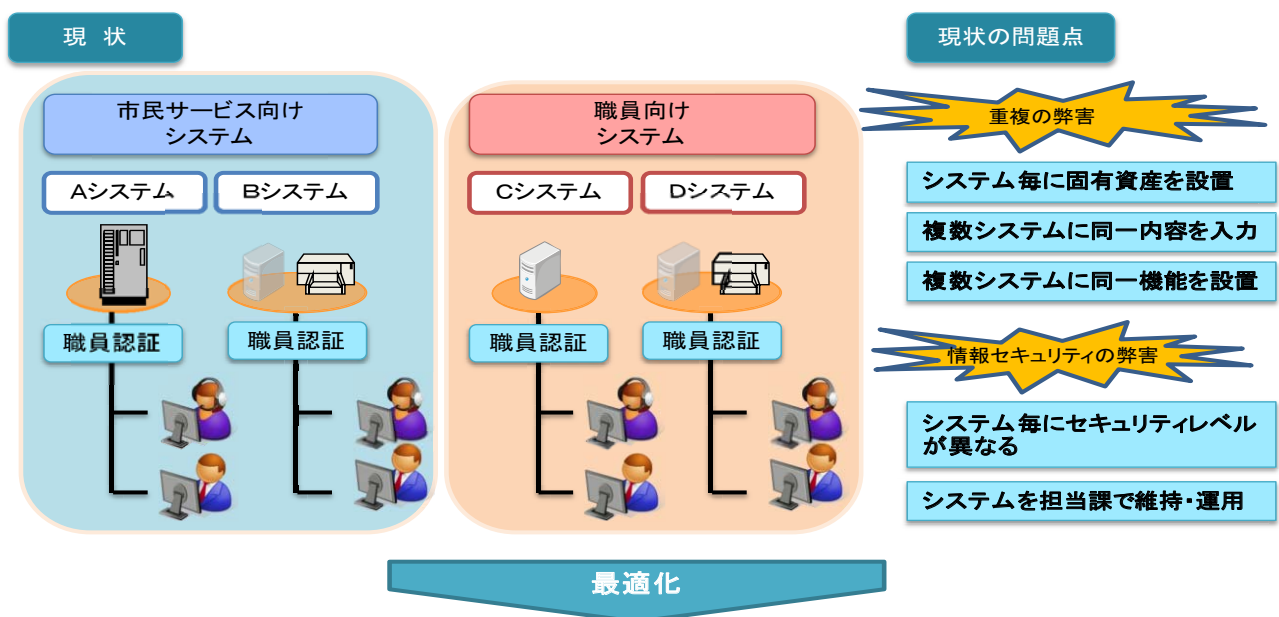
- ・本事業は円滑かつ確実に遂行するために組織横断的な体制のもと、明確な指揮系統によって推進していきます。
- ・大規模かつリスクも大きいことから、企画政策課主導、関係各課支援による強力なプロジェクトマネジメント体制を構築します。
- ・本事業は新庁舎建設事業との密接な相互連携によって、確実に推進します。



グループ		役割
PMグループ		<ul style="list-style-type: none"> ○事業全体の統括マネジメントを実施する。 ○横断的な業務を実施する。 ○新庁舎建設チームとの連携・調整を実施する。
市民サービス向けシステム	住民情報グループ	○住民情報系システムについて担当する。
	税情報グループ	○税情報系システムについて担当する。
	福祉情報グループ	○福祉情報系システムについて担当する。
職員向けシステム	内部情報グループ	○財務会計・人事給与・文書管理等の内部情報系システムについて担当する。
	共通基盤グループ	○各システムに共通的に関係する機能、データ連携等の全体調整を担当する。

6. 情報システム最適化のイメージ図

本事業によって最適化される情報システムのイメージ図は以下のとおりです。
今後さらに、拡張、発展させ、長期的な視点で市民サービスの向上、行政の高度化を目指していきます。



あるべき姿

共通の機能・システムの一元化、資産の統合化、運用の統合化、データの共有、統一された高セキュリティを実現することで最適化効果を得ることを目指します。

情報システム関連
コスト削減

市民サービス向上

業務効率化

情報セキュリティ水準向上